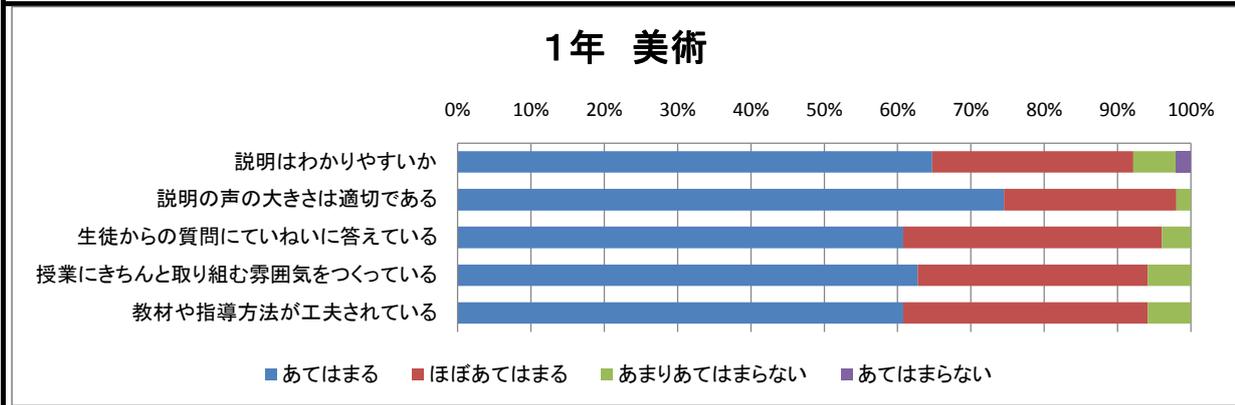


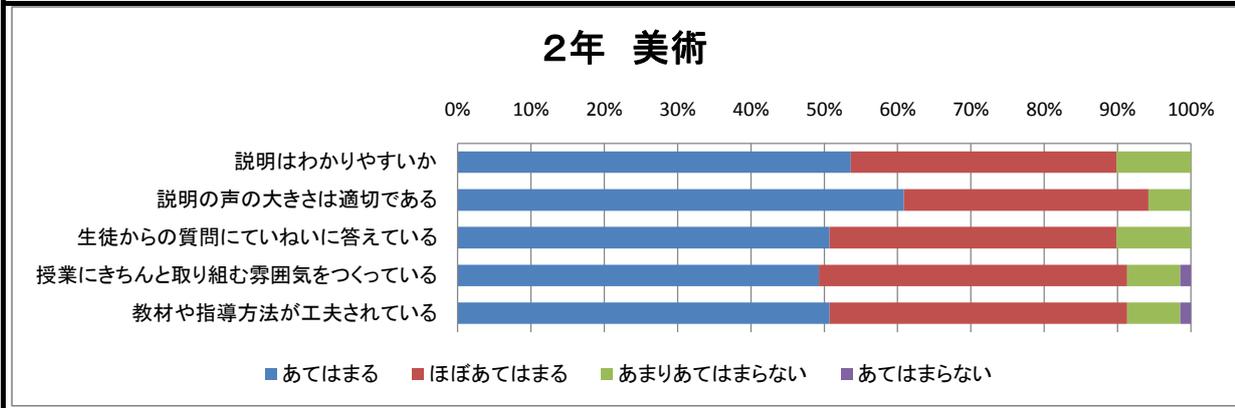
H30年度 第1学期 生徒授業評価アンケートより

教科 美術	重点目標 <ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせた、独創的で豊かな発想を育む。 ・創造的なよさや美しさを感じとり味わう(鑑賞する力)を高める。
--------------	--

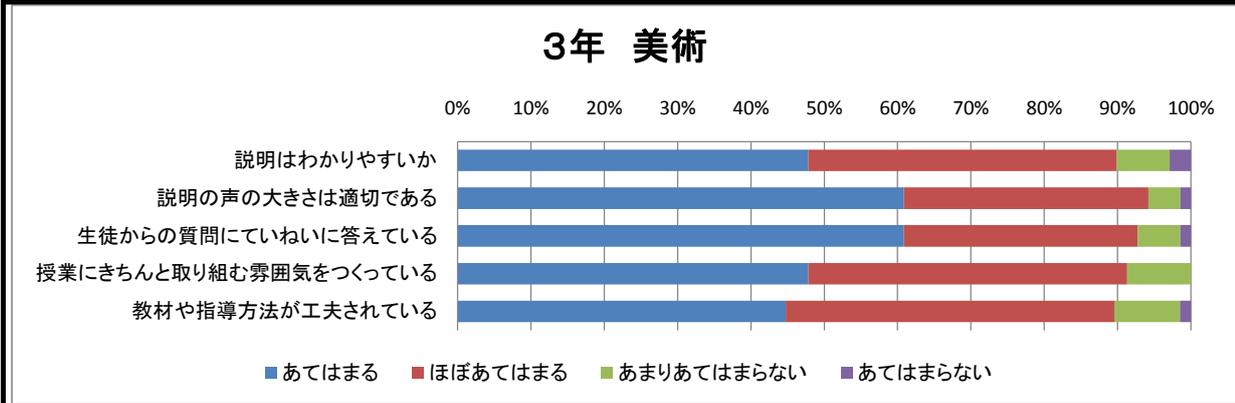
学習指導に関する現状と課題(一学期・生徒による授業評価アンケートより)



分析 小学校の図工から美術にかわり、内容や美術的表現も難しくなったかと思うが、戸惑うことなくよく考えて制作に取り組んでいる。理解して自分で進められるように、わかりやすい説明と、進度に合わせた丁寧な対応を心掛け、発達段階に合った魅力的な教材を工夫していく。



分析 1学期は木彫刻の課題で、各自の図案チェックなどから1時間の中で技術的な個別の対応が十分にできないことが多かった。それを見越して全体への説明や本時で取り組むことが理解できるような工夫を行ったが、目が行き届かない点においては雰囲気づくりを大切にしたい。2学期は個別対応の充実と、黒板掲示を使った指導方法の工夫を行っていく。



分析 1学期は1つの課題を長期的に行ったため、新しい教材や指導方法においては生徒には新鮮味がなかったと思うが、生徒はよく集中して取り組んでいた。後半には修学旅行につながる日本美術の学習をすることで新鮮さと他教科との関連、総括的な学びを工夫している。説明のわかりやすさにおいて、具体的な資料の提示と掲示物の工夫により生徒自身の理解を深めたい。